

全国学力・学習状況調査の結果について

6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

◆学力の概観

昨年度まで、国語と算数ともにA問題(知識を問う問題)とB問題(活用を問う問題)に分かれていましたが、今年度からA問題とB問題が統合され、知識・活用を一体的に問う調査問題となりました。

- (1) 国語における本校の結果は、全道平均正答率と全国平均正答率のどちらも上回ることができました。国語における基礎的・基本的な学習事項が定着しています。特に、「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に十分な成果が見られました。
- (2) 算数における本校の結果は、全道平均正答率と全国平均正答率のどちらも上回ることができました。算数においても基礎的・基本的な学習事項が定着しています。特に、「量と測定」に十分な成果が見られました。
- (3) 児童質問紙では、「自分にはよいところがある」「学校のきまりを守っている」「新聞を読んでいる」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童の割合が高い結果となりました。「毎日同じくらいの時刻に寝る」「授業で学んだことをほかの学習に生かしている」の質問には、全道・全国平均より「あてはまる」と答えた児童の割合が低い結果となりました。
- (4) これらの結果を受け、今後も学校では以下の視点を大切にしていきたいと考えます。
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の習得については、学ぶ楽しさを味わわせながら、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
 - ・自分の考えや思いをまとめ、説明できるように指導を継続します。
 - ・保護者の理解・協力のもと、自学自習の態度や学習習慣の確立・学習意欲の向上に努めていきます。